

合格体験記 M.Y

2021 年中小企業診断士 2 次試験に合格しました、M.Y (38 歳) です。

2 回目の 2 次筆記試験で合格する事ができました。

MMCには、2 回目の 2 次試験受験に際し、申し込みの直前まで、他の 2 次試験専門校と迷いに迷って 1 月から z o o m の通信講座を受講しました。

難しいアドバイスできず、文章を書くのも得意ではないため、読みやすい文章ではありませんが、皆様に少しでもお役に立てればと思います。

【受験歴】

R1 お試しで 1 次 4 科目 (経済学、財務、企業経営、運営管理) 受験し 2 科目のみ合格

R2 1 次合格、2 次不合格 [事例Ⅰ A(64) 事例Ⅱ B(30) 事例Ⅲ B(40) 事例Ⅳ B(56)
合計 190]

R3 1 次免除、2 次合格

【2 次筆記の 1 回目にやったこと】

2 次筆記試験の勉強は、過去問、ふ〇〇〇などの参考書、受験者支援団体のブログを活用して独学で行いました。

1 回目については、独学で、「絶対にストレートで合格する」と鼻息荒く、1 次試験終了当日から、仕事以外のほぼすべての余暇時間を勉強時間にあて「めちゃくちゃ勉強しまくった」と自分で言えるほど勉強しました。

内容は、これくらいやれば合格できるといわれている目安として、ふ〇〇〇を中心に 10 年間の過去問を 3 周以上行いました。

一方で、得点開示結果は上記の通り、事例Ⅱが 30 点 (全設問をしっかりと埋めてそれなりに論理だてて書いたつもりの結果です。)、事例Ⅲは時間が全く足りず、設問 3 の半分白紙で時間終了、設問 4 は完全白紙という結果でした。

個人的にある程度の勉強 (MMC 的には訓練) 時間の確保は必要 (悔いが残らないという意味) とは思いますが、「勉強時間ではない、受かるためのノウハウが必要」ということも痛感し、独学の限界を感じ受験校の検討を行いました。

【MMC を選んだ理由】

MMCについて良いもの、悪いものいろいろな口コミがある中で、どこで見たのか忘れましたが、「MMCは合格率が 40%以上を誇る (MMCの公表ではなかったと思います)」といわれている口コミを信じ (当時は半信半疑でした。)、MMCにかけてみようと考え、MMCに決定しました。

【MMC での勉強方法・やったことについて】

実際にMMCの最初の授業だったと思いますが、徳川先生がおっしゃられた、「設問で聞かれる事は大体同じで、それに対する答えも同じ。文章など読まなくても設問から答えは書ける、『先生一応読みました』のスタンスで事例文の言葉を回答に使う」、が合格した今考えると核心をついていたと思います。※私はそこまではできませんでしたので、長谷先生が行っていた、設問に対応する場所を事例文の右側にチェックする事を真似させて頂き、精度を上げることができたと考えています。

MMCの模試や答練における先生方の採点も本来のベスト回答とは異なっていますが、「MMCで教えてもらった回答の型」、「事例文の言葉」を使い、「MMCで用意しているキーワード」を活用したら高得点を頂けるようになりました。(模試や答練での高得点は、最後の最後まで半信半疑でしたが、結論は後ほどお話しますが、結果からして本当だと思います)

そして、内容で差がつきにくい試験のため、「いかにわかりやすく、きれいに書くか?」が重要な差別化ポイントとなるため、スピードが重要となる」事も強調されており、ここは納得した上で意識的に行いました。(私はもともと字が汚く、早く書こうとするとさらに字が乱れますので、人生で初めてシャーペン、シャー芯にこだわり、書き心地の違いをはじめて痛感しました。あくまで私にマッチしたのですが、メモ書きはモノグラフの0.5、解答記載はモノグラフの0.3を使いました。シャー芯はハイユニを使いました)

事例IVについても、GW講座を毎日取り組み、何週もする事で、理解し、正確に回答できる、ミスを減らすことができるようになりました。

私は通信で受講しましたが、答練を1回目は、MMCの型、キーワード、事例文の言葉を活用し、本番を意識して解く、そして、ひたすら復習する(答練、模試たくさんありますが、プロセスと回答の型が身につくまで何回もまわす、これだけだと思います)

1年目ほどではありませんが、その訓練については自分でも頑張ったといえると思います。

【試験当日について】

模試や答練でも事例IVがミスせずできたときは、上位に食い込むことができていたので、当日も事例IVで自分ができる問題でミスをせず、IからIIIでいつも通りできれば合格できると思っておりました。

一方で、当日は特に事例Iは事例文を読んでいても意味不明でしたが、腹をくくり「いつもの型でわかりやすく」「いつものキーワードを書く」、「事例文の言葉から書く」、「字をきれいに書く」これだけは守りました。

事例IIに至っては、上記は守りましたが、設問2と設問4の問題の意味を混同しており、全く同じターゲットを記載、豆腐丼の共同開発、おからのお菓子の共同開発を記載(それぞれ微妙にECとか情報発信だとかは変えましたが、一見ほぼ同じ回答を4問中2問に記載

している状況。。。)

事例Ⅲも、上記を守りましたが、設問2、3(4の対策の部分も)の切分けができず、これも対策ではほぼ同じ内容を記載。

事例Ⅳは、経営分析で、特徴と課題を答えるはずが、課題を書き忘れ特徴のみしか答えず、CVPの1問目から間違う、2問目は芋ずる的に間違う(考え方だけはあっていたため部分点はいただけたと思いますが、すべての場合で「矛盾」と書いて提出。1問目の間違いに気づくが戻る時間なし)。NPVについては、1問目は正解できたものの、2問目は計算過程、最後の結論(「投資する」)はすべてあっていましたが、最後の10秒で電卓をたたいたため、電卓間違いで数値が大幅に異なっていました。

上記の通り、いつも通り、事例Ⅳで自分ができる問題をミスせずとは程遠い出来栄で、事例Ⅱ、Ⅳでは、試験中「やっちゃったー」とか独り言も連発していたくらいですので、不合格を確信していました。

そのような中での合格でしたので、事例ごとにどれくらいとれたのか、興味深いので今年も得点開示をしようと思います。

結論、勝因は事例Ⅰ～Ⅲまでは、「事例文の根拠はつじつまが合えば、必ずしも設問に対する根拠が決まっているわけではない」、「読みやすい文章(いつもの型)」、「自分なりに丁寧な字が伝わる」、「いつものキーワード」で記載ができていた事と考えます。
事例Ⅳについては、こういったたくさんのミスがあったものの、MMCのGW講座をひたすら取り組んだ事で、難しい問題にも対応できたと考えております。(今年クラスの難問でも、ミスがなければ80点超えも可能だったと思います)

【最後に】

冒頭にも申し上げましたが、申し込み直前まで迷いに迷ってMMCを選び、約10か月MMCを信じて取り組んできて本当によかったと思っています。

先生方と実際にコミュニケーションをさせて頂いたのは、模試のzoom面談の時のみでしたが、親身にご対応を下さり、また、週1日の通信の録画でも身近に感じており心の支えとなっておりました。また、中小企業診断士試験の核心をついた非常にわかりやすい講義、添削をありがとうございました。

2022年の受験生の皆様につきましても、私のように半信半疑で受けている方もいらっしゃるかと思います。MMCは、「MMCの型」で、「MMCの厳選したキーワードを的確に使いこなす」、「丁寧な字で分かりやすい文章を書く」こと、その訓練を徹底して行う事ができれば、合格に最も近い学校と自信をもって言えます。

受験生の皆様が2022年の合格を勝ち取れる事を心より祈念しております。